

国際協力

2026.4
春号

No.87

JICA 駒ヶ根

2025年度3次隊 97名 世界29カ国へ!!

3月18日(水)、2025年度3次隊の修了式が執り行われ、翌19日(木)には97名の訓練生が駒ヶ根訓練所から巣立っていきました。修了式で答辞を述べた羽田野 力椰さん(ガボン/野菜栽培)は、人は人との関わりの中で学ぶということに気づきました。「仲間の努力する姿や挑戦する姿、何気ない日常の会話の中に、私たちの大切な学びがありました。そして、技術とは人との信頼関係の中でこそ生きるものなのだ、この訓練を通して実感しました」と派遣前訓練を振り返り、今隊次の訓練生が学んだ7



ごちそうさまでした!

スペイン語
がんばって
いま〜す!



所外活動で
にんじん
掘ったよ!

つの言語で「ありがとう」を表現し、感謝の気持ちを述べました。

これまでに派遣されたJICA海外協力隊員は累計58,242名、派遣国数は99カ国です。(2026年1月末時点)

訓練生の皆さん、どうかお元気で! 行ってらっしゃい!!



答辞を述べる羽田野さん



2025年度3次隊(10名)

長野県にゆかりのある

JICA 海外協力隊員

その1



ろくはら たかし
六波羅 孝

伊那市出身

派遣国 マラウイ

職種 薬剤師

首都リロングウェの国立病院に派遣予定です。抗がん剤治療も行われる一方、医療機材の老朽化や人材不足が深刻です。病院薬剤師としての経験を生かし、現地医療の向上に全力で貢献したいと考えています。



はやし きょうこ
林 香子

駒ヶ根市在住
(青森県青森市出身)

派遣国 ベトナム

職種 観光

駒ヶ根市での「地域資源を生かした教育旅行づくりの経験」を生かし、任地ダラットで現地と協働した体験型プログラムをつくります。二度目の協力隊生活を楽しみながら、現地のニーズに合った活動を模索していきたいです。



しもはぎ
下萩 くるみ

前職が駒ヶ根市

派遣国 マレーシア

職種 コミュニティ開発

マレーシアの障害当事者団体で、マーケティングを通じた自立支援に取り組みます。駒ヶ根市で地域の方々と関わる中で学んだ「当事者視点」と「つながりの力」を生かし、現地に根ざした活動を実践したいです!



さとう ともや
佐藤 友哉

諏訪市出身

派遣国 ボツワナ

職種 コミュニティ開発

世界陸上男子4×400mリレーの優勝で、初めてこの国を知った方も多いのではないのでしょうか。長野県と同様に昆虫食も盛んなようで、ホームシックにならずに済みそうです。

私は田舎の小さな町で地域ビジネスの支援を行ってまいります。誠心誠意頑張ります。



そね かなこ
曾根 奏子

軽井沢町出身

派遣国 インドネシア

職種 日本語教育

西ジャワ州バンドンにある大学で、日本語教師として活動します。インドネシアの人々の文化や価値観を大切にしながら、学生が日本語を習得したその先の未来をいきいきと想像できるようサポートしていきたいと思っています。





しみず ようこ
清水 洋子

長野市出身

派遣国 **グアテマラ**

職種 **コミュニティ開発**

長野県立長野東高校の1期生です。後輩たちが全国高校駅伝で活躍しています。彼女らの「最後まで諦めない」精神を見習い、任国では、住民の声に耳を傾け、食の安全や健康面の生活改善支援ができることを目指しています。



よしだ えり
吉田 愛梨

松本市出身

派遣国 **ベリーズ**

職種 **PCインストラクター**

中米のベリーズで小学生にパソコンの授業をします。先生という立場は初めてですが、小・中学生の時に勉強が楽しいと思わせてくれた先生方みたいになれるよう、現地の子どもたちに合ったやり方で授業ができればいいと思います。



かやつ ひろみ
荻津 広実

長野市出身

派遣国 **コロンビア**

職種 **輸出振興**

コロンビアのほぼ中央、標高1,500メートルにあるペレイラ市ということで、地元商品の輸出のお手伝いをします。ずくを出して多くの会社や農家を回り、世界市場に通ずる魅力的な商製品を探したいと思っています。



なしだ こなつ
梨子田 小夏

大田市出身

派遣国 **エクアドル**

職種 **青少年活動**

エクアドルのカタマヨ市役所に配属され、児童労働撲滅プロジェクトで子どもたちやその家族、地域の方々を対象に支援活動を行う予定です。現地の方たちと協力しながら、子どもたちの学びと未来を支えたいです。



まえどころ まりえ
前所 麻里江

長野市出身

派遣国 **エルサルバドル**

職種 **音楽**

エルサルバドル東部チナメカ市の音楽学校で、音楽を通じた情操教育や技術向上に携わります。地域住民との交流を深め、音楽の喜びを共有しながら、その力を未来へつなぐ架け橋となるよう活動します。

駒ヶ根訓練所 課長交代のごあいさつ

ありがとう
ございました!

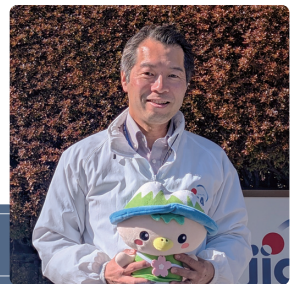


いのうえ ひろむ
前課長 **井上 啓**

駒ヶ根を離れて3ヶ月が経ちました。毎朝、凜と澄んだ空気と紺碧の空に映える両アルプスを眺めて出勤していた日々が、今では遠い昔のように感じられます。在任中は、みなこい地域の皆さま、特に「駒ヶ根協力隊を育てる会」の皆さまに可愛がられ、また温かく支えていただきました。職場では課員の皆さん、所長、ともに訓練所の運営を担う委託先の皆さまのご支援により、3年2ヶ月間の赴任を無事全うできました。本当にお世話になり、ありがとうございました。

現在は JICA 関西で研修業務に携わり、新たな環境で元気に仕事を始めています。久々の関西、久々の研修事業ということで覚えることも多いのですが…(笑)。皆さま、関西にお越しの際は、ぜひ JICA 関西へお立ち寄りください!

よろしく
いたします!



はたの まこと
課長 **波多野 誠**

はじめまして、1月15日付で駒ヶ根青年海外協力隊訓練所の業務課長として着任した波多野です。ご縁あって当方が関わりたい協力隊事業の現場である駒ヶ根に来ることができたことを嬉しく思っております。来て早々、想いを持った自治体や育てる会といった方々、訓練所内の個性豊かなスタッフとの交流を通じて、駒ヶ根が協力隊事業に熱い地域ということ、ひしひしと感じております。私としては、訓練生と地域の関係者をつなぎながら、より一層に地域に開かれた訓練所として、盛り上げていくことに尽力できたらと思います。これからみなこい地域での、さまざまな人との出会いや協働を楽しみにしています。私を見かけたら気軽に話しかけて、ぜひみなこいについて色々教えてください。どうぞよろしくお願いいたします!



訓練生向け応援セミナー

新企画

地域で活躍されている方々を講師にお招きし、これまでのご経験や大切にしてきた価値観などをお話いただく中で、訓練生に「生きる力」の磨き方を学んでもらおうとスタートした新企画。

第1回

駒ヶ根協力隊を育てる会
会長 池崎保さん

41年の外交官人生を振り返り、「辛苦の時こそ道ひらく」「失敗は人生の薬、成功はむしろ毒」。だから、失敗を恐れずにガンバレ!と温かいエールを送っていただきました。



第2回

伊那食品工業(株)
元会長 井上修さん

社員一人ひとりを家族のように大切に
する経営理念から、「己の損得を越える」「働くことは神事」「生きてるくせに文句言うな!」など、より良く生きるためのヒントと熱い激を飛ばしていただきました。



第3回

塚田理研工業(株)
代表取締役社長 下島聡さん

常にアンテナを張り、ポジティブに行動し、変化し続けることの大切さ、そして最後の1分1秒まで必死に取り組むことが人としての「責任」の果たし方だと、私たちの背中を押してくださいました。



人生の先輩方から沢山の示唆と励ましをいただき、私たちスタッフも大いに勉強させていただいたセミナーでした。講師の皆さん、本当にありがとうございました。

訓練生と地域住民との交流会

1月21日(水)、「訓練生と地域住民との交流会」を開催し、会場は参加者51名の熱気に包まれました。一般参加の関さんは、ご自身の豊富な海外経験から現地の床屋や歯医者での注文方法を訓練生に伝授して下さったり、南箕輪村から参加の依田さんは、一昨年の教員研修がきっかけで協力隊に応募しました!と熱っぽく語って下さったり、訓練生の堺さんは、小学校の頃からの夢を叶えての協力隊ですと嬉しそうに話されていました。



この日、一番遠く屋久島から参加いただいた協力隊OVの高田さんは、協力隊を経験してからずっと冬でも水シャワーを浴びているという驚きのエピソードを交えながら「隊員の皆さんには、頑張りすぎず、でも頑張ってくださいね!」と言いたい」と、優しいエールを送っていただきました。

この交流会は、毎隊次(年3回)実施しており、毎回、嬉しい再会やさまざまな方のご縁を実感できる素敵なイベントです。次回は5月7日(木)を予定しています。ぜひ、お気軽にご参加ください。

高校生体験入隊2026

2月21日(土)、長野県内の高校生を対象に「高校生体験入隊」を開催し、高校生8名と訓練生13名が“世界と関わる生き方”について共に考える1日を過ごしました。

「人生を考えるきっかけについて、多くのヒントをもらった」「いろいろな生き方があって、それが人生だと思った」など、感想を寄せてくださった皆さん、ありがとうございました。

プログラム

- ① 開会式
- ② 協力隊講座
- ③ 施設見学
- ④ アイスブレイク
- ⑤ エスニック料理ランチ
- ⑥ キャリアについて話そう
- ⑦ 20歳を描こう



高校生体験入隊は、毎年2月頃に開催しています。海外に行ってみたい、進路に悩んでいる、協力隊に行きたい!! そんな高校生の皆さんの参加をお待ちしています。

告知

5/7(木) 19:00~20:30
訓練生と地域住民との交流会

お申込みはこちらまで



人気イベントなので、お早めに!

5/30(土)~31(日)
中学生体験入隊

お申込みはこちらまで



イベントの様子は
広報紙バックナンバーで!



ナショナルスタッフ研修

アフリカや中南米などの在外事務所で、ボランティア事業を担当しているナショナルスタッフ12名が来日し、能力開発研修が実施されました。2月2日(月)～4日(水)には、駒ヶ根訓練所でも語学授業や講座の視察、訓練生や語学講師との意見交換などが行われました。素敵なお土産(メリー・ブラウス)も寄贈いただき、ありがとうございました!



第5回 駒ヶ根国際フォーラム

2月14日(土)、駒ヶ根国際フォーラムが開催されました。協力隊事務局の大家卓哉局長が「JICA海外協力隊60年の歩みと協力隊経験者が地域住民と共につくる地域活性化の取組」について講演し、JICAブースでは初代隊員や駒ヶ根市出身隊員、社会還元に取り組む協力隊OVのパネル展示などを行いました。



手前味噌をつくりましょう

長野県OB会主催の味噌作り体験会が2月28日(土)に行われました。宮田村産の大豆と駒ヶ根市産の米麹、天然塩だけで作る愛情たっぷりの贅沢味噌。講師を務めてくださったのは、30年以上も味噌を手作りしている青木OV、横尾OV、石川さんです。半年後には美味しい味噌になるとのこと。



訓練生の皆さん、任地からの味噌レポートお待ちしております。

まっくの COSTARICA 通信

COSTARICA に日本語教育隊員として派遣中の松村 咲哉さんが、エコーシティ・駒ヶ岳さんと企画した「まっくの COSTARICA 通信」。2作目が3月に放送され、現在3作目を制作中とのこと。



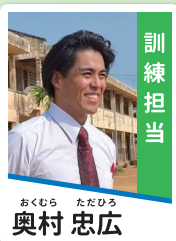
「CEKIほっとタイム」の特集コーナーで放送予定です。



New Staff Introduction

NEW

スタッフ紹介!



訓練担当

おくむら ただひろ
奥村 忠広

2023年度3次隊 / カメルーン / 体育隊員OBの奥村です。カメルーンでは

「『アフリカ流×日本式』で体育を体系化する」をテーマに、小学校で体育に関する技術伝達と授業改善をメインに活動していました。

訓練生の皆さんが自信をもって世界へ羽ばたいていけるように、全力でサポートしていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします!



語学担当

くらた とうこ
倉田 桃子

2月2日に着任しました。2022年度4次隊として3年前この訓練所で学び、ス

リランカに派遣され、青少年活動隊員として配属先の職業訓練校の受講生や地域の若者のために活動しました。

これからは訓練生の皆さんが語学を存分に学べる環境づくりとサポートをしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈ひします!



訓練担当

むらなか りょうたつ
村中 亮竜

2022年度3次隊の環境教育隊員としてホンジュラスで活動して

おりました。その後、ご縁をいただき昨年の12月より駒ヶ根訓練所で訓練担当として勤務しております。

訓練生の皆さんが充実した訓練を行い、任国で活躍できるようサポートしていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお祈ひします。



訓練担当

つちはら ひろと
土原 裕人

障害児・者支援隊員として、2025年10月までエクアドルの特別支援学

校で活動していました。

現在は訓練中にお世話になりましたJICA駒ヶ根訓練所にて、訓練生へのサポート業務を担当しています。自身の経験を還元しながら訓練生たちを全力でサポートできればと考えておりますので、どうぞよろしくお祈ひいたします。

毎月2回

SBCラジオに
生出演中!
SBCラジオ
「ミックスプラス」内コーナー

第1月曜日 15:00～15:15

「トンガ・マガジン～南の島からマロイレレイ!」

トンガ派遣中の竹内 梓 隊員
(2024-3 / 番組制作) が旬の話題や
現地での生活についてお届けします。

第3月曜日 13:13～13:30

「協力隊と巡る音楽世界旅行」

長野県ゆかりの協力隊OVが出演し、
協力隊の体験談と派遣国での
思い出の一曲を紹介しています。



SBCラジオHP

< 2025年度 駒ヶ根訓練所 >

派遣前
訓練人数
実績

1次隊: 119名修了
2次隊: 115名修了
3次隊: 97名修了

JICA駒ヶ根
施設訪問
受付中!

JICA駒ヶ根は、JICA海外協力隊の派遣前訓練を行う施設です。普段は一般公開していませんが、施設訪問プログラム(施設見学/ランチ体験/民族衣装体験など)を実施しています。

事前のお申込みが必要ですので、詳しくはこちらをご覧ください。



発行

独立行政法人 国際協力機構 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(JICA駒ヶ根)

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15 ☎ 0265-82-6151 ✉ jicakjv-kouhou@jica.go.jp

JICA
駒ヶ根
HP



JICA
駒ヶ根
FB

